

植生学会誌の表記に関する細則（この表にある以外の項目は執筆要領に準拠する。2011年12月、植生学会編集委員会改訂）

	事 項	植生学会誌で使用している表記の例	使用しない表記の例
1	和文原稿はピリオドとカンマを用い、句読点はいない。	カンマを用い、句読点はいない。	カンマを用い、句読点はいない。
2	数字は原則的に半角を用いる。	2000年10月15日、11ヶ月、26方形区	2000年10月15日、11ヶ月、26方形区
3	4桁以上の数値でもカンマはつけない。	456000	456,000
4	「かくらん」の字体は正しい字体のみ使用する。	攪乱	攪乱
5	必ず仮名書きにする語。	あらかじめ、ある、いずれの、おいて、およそ、および（接続詞）、かつ、ごとに、ころ、したがって（接続詞）、しばらく、すなわち、ため、なお、ならびに、ほとんど、まず、または、まで、もって、もちろん	予め、或る、何れの、於いて、凡そ、及び（接続詞）、且つ、毎に、頃、従って（接続詞）、暫く、即ち、為、尚、並びに、殆ど、先ず、又は、迄、以て、勿論
6	結果の本文中における図表の引用は現在形で行う。	……を図5に示す。表3に……を示す。 ……are shown in Fig. 5. Table 3 shows……	
7	サイズの表記は「○×○m（○m×○mも可）」、「○×○×○cm」などとし、「○×○m ² 」や「○×○×○cm ³ 」は使用しない。	10×10 m, 10 m×10 m, 10×10×10 cm 100 m ² , 1000 cm ³	10×10 m ² , 10×10×10 cm ³
8	「～」の記号は原則的に使用しない。数値間の場合は半角のハイフン「-」を用い、言葉間の場合は「から」と仮名書きにする。	12-25 m ² , 50-60 °C, 西から東向き斜面	12~25 m ² , 50~60 °C, 西~東向き斜面
9	地名は最新のものをを用いる。旧名が必要な場合は併記する。	埼玉県秩父市大滝字栃本（旧秩父郡大滝村字栃本）	埼玉県秩父郡大滝村字栃本
10	負の数値のマイナス記号には全角の「-」を用いる。	-10 °C	- 10 °C
11	学名の命名者名はIPNI (http://www.ipni.org) の Standard form に従う。	Franch. et Sav., Kuntze, Rchb. f., Siebold et Zucc., Thunb.	Franch. et Savat., O. Ktze., Reichb. fil., Sieb. et Zucc., Thunberg
12	植生単位の和名表記において、初出では必ず学名を用いた植生単位名を併記する。2種以上の植物名を連結した植生単位の和名は、学名を用いた植生単位名と同順、逆順、または原記載の和名のいずれも使用できるが、1つの論文の中では表記方式を統一し、その方式を必ず本文に明記する。	スズタケブナ群集とヤマボウシブナ群集が分布することが…、 ブナスズタケ群集とブナヤマボウシ群集が分布することが…、 または、 ブナスズタケ群集とヤマボウシブナ群集が分布することが…	スズタケブナ群集とブナヤマボウシ群集が分布することが…
13	2種以上の植物名を連結した植生単位の学名表記において、植物社会学の群集名等の表記は命名規約に則る。“community”等の規約外の名称は、和名表記の方式に合わせる。また、書体は右の例に倣う。	Sasamorpha -Fagetum crenatae, Saso -Fagetalia crenatae <i>Fagus crenata</i> - <i>Sasamorpha borealis</i> community または、 <i>Sasamorpha borealis</i> - <i>Fagus crenata</i> community	
14	引用文献の雑誌名はフルネームで表記する。	日本林学会誌, 日本生態学会誌, Journal of Vegetation Science	日林誌, 日生態会誌, J. of Veg. Sci.
15	本文中で複数の文献を引用するときは、異なる著者の論文の間はセミコロンで区切り、同じ著者の論文の間はカンマで区切る。	……に成立している（大野 1986; 佐藤 1988, 1995; Ann & Oshima 1996; Sakio 1997; Sakio et al. 2002）.	
16	2名以上の著者からなる欧文文献の著者名では“and”は用いず、“&”を用いる。	……が知られている（Tsuda & Ajima 2025）. Tsuda, S. & Ajima, M. 2025. Viable seeds in the……	……が知られている（Tsuda and Ajima 2025）. Tsuda, S. and Ajima, M. 2025. Viable seeds in the……
17	本誌集録論文における2名以上のローマ字著者名では、表題ページ、巻末目次ともに“and”を用い、書体は右の例に倣う。	Mikiyo WADA and Takao KIKUCHI （表題ページ） Wada, M. and Kikuchi, T.（巻末目次：事務局作成）	
18	巻がなく号だけの雑誌等の表記は、号を巻に置き換える。	津田 智 2022. 山火事跡地の植生. 火事, 5 : 1-25.	津田 智 2022. 山火事跡地の植生. 火事, (5): 1-25.
19	巻・号のある雑誌で、巻としての通しページがなく、号としてのページだけがある場合は、（）付きの号番を入れる。	菊池多賀夫 2011. 丘陵地の植生配列. 立地の研究, 5 (2): 1-10.	菊池多賀夫 2011. 丘陵地の植生配列. 立地の研究, 5 : 1-10.
20	見出し・小見出しには番号を付けない。また、見出しと小見出しはゴチック（ボールド）とする（ボールドは最終原稿に朱書きで指定）。	■ 結果 ブナ林の分布	III. 結果 1. ブナ林の分布
21	英文論文における和文の要約は、表題、著者名、所属のあとに改行して要旨を書き、簡条書きにはしない。書式は右の例に倣う。	■ 要約 西九州のハマボウ群落の分布と生態. 中西弘樹（長崎大学教育学部） 西九州において、ハマボウ群落の分布と生態、特に群落の大きさと生育地の海岸地形について調べた。ハマボウ群落が最も旺盛に……	
22	和文論文の摘要は、目的から方法、結果、考察までの重要事項を簡条書きにする。書式は右の例に倣い、項目ごとに1字分下げる。	■ 摘要 1. 湧水湿地の植生の植生配分を明らかにするため、地下水の流動に着目した。 2. 地下水位は観測井戸を用いて、地下水流動は長さの違う……	